



今年、新型コロナウイルスのために、多くの大会が中止になりました。全国大会出場をめざして、生徒たちは努力を積み重ねてきました。また、大会を開催するために準備をしてくださった多くの人たちの汗と涙がありました。中止が決まって悔しい思いをする人たちがたくさんいたことでしょう。でも、中止になったからといってそれまでの努力が消えることはありません。みなさんの熱い思いは紛れもない本物です。

生徒のみなさんの「今思うこと」「これからの自分へ」「これからの後輩たちへのメッセージ」「支えてくれた方々への感謝の言葉」をまとめました。必ず、明るい未来が訪れることを祈っています。

01 硬式野球部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
めざしてきた甲子園が中止になった時は、正直これからどうなっていくか不安だった。しかし、5月23日全員で集まった際、新たな目標を定め、もう一度頑張ろうとスタートラインに立った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

野球の技術の練習以外に、いつもできない事に取り組んだ。毎日当たり前のようにやっていた野球ができなくなり、目の前の事から逃げずに向き合おうと思った。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

これから野球を続ける人もいれば、就職し社会人になる人もいる。自分たちにしか分からない悔しさ、これを糧にして一人ひとりが次のステージで頑張っていきたいと思っている。

部活動への思い(後輩へ)

今、この時間、この仲間たちと野球ができることを大切にしてほしい。一人ひとりの想いを無駄にしないようにいろいろな方に支えてもらっている事を忘れずにプレーしてください。



02

軟式野球部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 私たちの代は、10回目の全国優勝を目標に冬のトレーニングから日々練習に取り組みできた。突然の中止決定はとても悔しかったが、それでも最後までやり抜く覚悟を決めた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

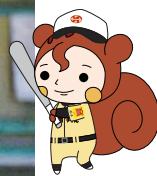
全体練習の大切さを感じた。一人で練習をしてもメニューや場所に限界があり、早朝から夜遅くまで部活動に打ち込める学校の環境のありがたさを改めて感じた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

私たちの学年しかこのような経験はしていないので、チームスポーツで身につけた協調性と支えあって下さった方々への感謝をより一層感じながら経験を活かしていきたいと思っています。

部活動への思い

2年半の活動は、技術だけでなく、精神面、人間性においても成長することのできた貴重な時間だったと思います。後輩たちには、日々の練習を大切にしながら頑張っ
て欲しいと思っています。



03

テニス部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 新入生の団体で好成績を残し、春、夏の大会に向けて部員一同気持ちが盛り上がっていた矢先の大会中止。本当に残念で悔しかった。このチームメイトと大会に出場できないことのショックは大きかった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

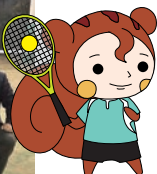
休校中、改めてテニスをするこ、仲間と練習に励むことの楽しさを実感した。最後に代替試合が行われることを信じ、筋トレや体力づくり等自分たちができていることに取り組んだ。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

部活動が再開し、一日一日の練習を今更で以上に大切にしたい。代替試合開催が決定し、自分たちが今まで努力してきた事を発揮し、悔いが残らないようにしようと決めた。試合ができたことには本当に感謝している。

部活動への思い

部員たちと過ごした時間は全て大切な思い出。たくさんのお事を一緒に乗り越え、助け合い支えてくれた仲間や先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。後輩たちには一日一日を大切に練習し、自分たちの分も結果を残してほしいです。



04 ソフトテニス部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 3年生の最後の大会に向けて一生懸命努力してきたので、とても残念であった。しかし、これまで努力してきたことを次に活かして頑張ろうと思った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

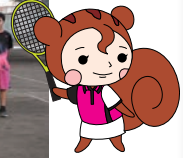
新型コロナウイルスの影響で、部活動も授業も止まってしまい、何も考えられなくなっていました。しかし、少しずつ気持ちを切り替え、受験に向けて学習に取り組んだ。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

3年間の部活動の中で仲間と過ごした時間はとても大きな財産になった。これからは、部活動や学校生活で得られたことを糧に次のステージで活躍していきたい。

部活動への思い

完全燃焼できず、やり残してきたことはたくさんあるが、部員全員目標である「関東大会出場」実現をめざして、これからも頑張ってもらいたいと思います。



05 バレーボール部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 私たちだけでなく、だれもが想像できなかった事で、自暴自棄になりそうだったとにかく、今後が不安でならなかった。今年度、インターハイは地元の栃木県が開催予定だったので、特に残念だった。関東大会、国体も中止。こんなことが起きるなんて、悔しくてたまらなかった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

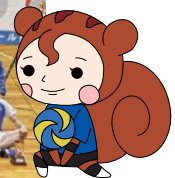
複雑な心理状態だったが、不思議と身体を動かし、体力・筋力が落ちないよう、部活が再開した時を考えながら生活した。いつから登校できるのだろうとぼんやり考えしてしまうことが多かった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

苦境を乗り越えられたかどうかわからないが、残された大会で納得のいくプレーと結果を残すことが今後の一歩につながると信じ努力するのみと考えた。

部活動への思い

自粛中は、このまま大会が実施されず引退なのか考えました。目標が高ければ高いほど、失望感は想像以上のものになる。それでも、前に進まなくては何も始まらないのが部活動の厳しさ。部活動で困難と向き合ってきたことが頑張る原動力になったと感じています。



06 バスケットボール部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
受け入れなければならぬ現実だとは知りながらも、やはり心で理解するのは簡単ではなく、部員たちはほとんど受けとめられなかった。しかし、このメンバーで全国へ行くという夢は持ち続けた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

体力が落ちないよう、自主練、筋トレ、体力維持、技術向上の為にオンライン練習に励んだ。それ以上に、チーム力を高めるために部員全員で早朝から夜遅くまで声を交わし、ビデオで顔を合わせ、お互いの繋がりを深める努力をしようとした。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

幸いにも一つだけ残った、ウィンターカップで全国に必ず行くという夢を掴むためにここまでやってきた。同じ志を持って一緒に戦ってくれた後輩たちがいたからこそ頑張れた。練習ができなくても、その悔しさを糧に練習再開後は全員が一生懸命取り組むことができた。

部活動への思い

コロナウイルスの拡大も含め、3年間の経験は間違いなく将来へ繋がる学びの毎日でした。私たちは何よりも、熱心に指導し続けてくださった先生方には感謝が絶えません。練習はできませんでしたが、めげずに一致団結で頑張ります。



07 卓球部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
高校生活で積み上げてきたものが披露できなくなり、これまで応援してくれていた人たちに成長した姿を見せられなくなってしまう、残念な気持ちになった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

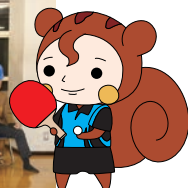
体力を落とさないために、家でできる体操や、学習動画で配信された体育を参考にストレッチなどを行った。早く部活がやりたいという気持ちでいっぱいだった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

すべての大会が中止となり、中途半端な形での引退となってしまったが、今まで卓球をしてきた時間を勉強に充て、第一志望校に合格し、大学でまた卓球を続けていきたい。

部活動への思い

これまで卓球を続けてきて、技術面のみならず精神面でも学ぶことがたくさんありました。ここまで成長させてくれた顧問の先生やコーチの方々、先輩・後輩のみんなに感謝します。



08 ラグビー部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
今まで練習してきたことを試す機会がなくなり、とても残念だったが、今の状況の中で何ができるかを真剣に考え、個人でできるトレーニング方法について調べた。

休校中に考えたことや取り組みんだこと

筋力トレーニングや試合動画の確認を積極的に行った。オンライントレーニングでは、みんなで楽しく取り組むことができ、つながることの大切さを学んだ。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

先生方が一致団結して、オンラインでのさまざまな取り組みを行ってくれた。オンライン作新祭に参加して、動画を活用する新たな方法を学んだ。

部活動への思い

新型コロナウイルスの影響で、練習時間の確保が難しい状況でしたが、今できることを精一杯取り組んできました。3年間ラグビーを続けて良かったです。



09 サッカー部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
目標となる大会が中止となったことで、自分自身もチームとしても、今まで積み上げてきたことが発揮できない悔しさでいっぱいになった。

休校中に考えたことや取り組みんだこと

部活動の再開を心待ちにしながら、家で体幹トレーニングやボールを使った練習に励んだ。部活動ができることが当たり前ではないということを痛感した期間だった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

インターハイは中止になってしまったが、最後の大会である選手権が残っていたので、そこで少しでも良い成績を残そうと、チーム全員で気持ちを切り替えることができた。

部活動への思い

辛い時もあったが、仲間と支え合ったことで乗り越えることができました。後輩の皆には、一瞬一瞬を大切に、後悔することがないように頑張ってもらいたいと思います。



10
ゴルフ部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
絶望という言葉が一番当てはまると思う。大会が終わった後、受験勉強に力をいれようと考えていたのに、部活動にも学業にも身が入らなかつた。最後の年にすべてを懸けていただけに、どうして良いかわからなくなつた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

休校中は、毎日練習をした。目標をなくしてしまつたら、人は努力をしなくなる。きつと試合はある、と信じて心を燃やし、いつ最後になろうと全力を出せる状態をめざして努力し続けた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

夢はプロゴルファー。今後の目標として、さらに技術を向上させて、メンタル面を鍛えて頑張ろうと思つた。休校中の練習の成果も出て、とても嬉しかつた。受験に向けても全力で頑張る！

部活動への思い

技術面でさまざまな事をたくさんの方から教えていただきました。教えていただいた礼儀正しさや目上の人への気配りなどは、人として成長させてくれたと思い感謝しています。4連覇は達成できなかったけれど、これからは後輩たちに夢を託します。

11
ゲートボール部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
「全国大会で男女アベック優勝！」を目標に練習してきたので、正直、「何のために練習していくのか？このまま続けて何か意味があるのか？」という迷走状態だった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

とにかくまだ全国大会の中止が正式に決まったわけではないので、気持ちを切らさず、自宅でできる自主練習（打ち込みや近距離のタッチ・スパークの練習）に取り組んでいた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

次の目標である国体や全日本選手権大会に向けて気持ちを切り替え、基礎・基本に立ち返つたことで、自分の弱点や強化ポイントが明確になり、技術力向上の近道になったことがとても良かったと思う。

部活動への思い

全国大会は全て無くなつてしまいました。部活動ができるありがたさや、応援してくれている両親への感謝を再認識することができました。また、地域の方々の心優しい声援を直に聞き、今できることを頑張ろうという勇気が湧いてきました。部員皆が一丸となって来年の全国大会に向けて頑張っていくと思います。



12 陸上競技部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 全国大会出場を目標に高校に入学した。3年間力を注ぎ、自分の記録を伸ばしてきた。全国大会が中止となり、めざしてきたものがなくなった。記録を出すことができないことで進路についても不安が押し寄せてきた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

休校中の練習は、基礎の見直しを徹底的に行った。限られた場所で、フォーム改善等を行うことができた。モチベーションを落とさないように、自主練習は欠かさなかった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

記録重視の競技。記録が残せないことで進路について悩んだ。この期間、仲間たちと将来の夢を見直す時間にもなった。チームメイトは、大学進学を選び、自分は、夢に向かって競技を辞めることを決めた。でも、お互いに、引退試合に向けて記録更新をめざしている。この陸上競技部で得た経験は、今後必ず活かされるはずだと思う。

部活動への思い

3年として、特に1年生とコミュニケーションがとれなかったのがとても残念。陸上競技部は、個人競技でもあるけれど、団体競技。コミュニケーションが大切だと思っている。そして、基礎練習をしっかりと積んでほしい。大会で思うような結果が出なくても、辛くても、基礎練習を疎かにせず頑張りてください。



13 バドミントン部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 高校の部は大会が開催されることを信じて、練習に励んだが、目標がなくなり、落胆し練習に身が入らなくなったこともあった。現状を踏まえ、今何ができるか、何をすべきかを日々考える時間ができたと思っている。

休校中に考えたことや取り組んだこと

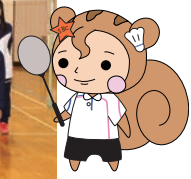
毎日外で2時間程度チームメイトとトレーニングをして、お互いを高めあうことができた。部員全員でビデオ通信を行い、目標をたてて、離れていても心をひとつにして過ごした。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

高校最後の大会がなくなり、やり切れないない気持ちがあった。そこで、さらに次のカテゴリーで活躍することへの思いが強くなった。コロナ禍での我慢した経験を今後に活かしたい。

部活動への思い

顧問の先生のおかげで技術面はもろる人として成長することができました。また、後輩たちには私たちが叶えられなかった団体でのメダルを獲るとい目標を託したいと思います。



14 体操競技部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
1年生の時から目標としてきたインターハイがなくなり、悔しい思いでいっぱいだった。区切りとなる大会をせず引退することになったのも寂しかった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

体操場に戻った時に動けないことがないよう、柔軟や倒立、体幹トレーニングを欠かさず行った。また自宅でできるトレーニング紹介の動画なども作成することができた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

休校で勉強する時間が増えたので、志望校をランクアップできた。大学ではレベルも高くなるが、この悔しい思いをバネに大会でいい結果を残したい。

部活動への思い

部活が再開してからは、今まで以上に一日一日を大切にできるようになりました。環境にも恵まれ、仲間と切磋琢磨して成長することができ、体操を続けて良かったと思っています。



15 水泳部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
初心者で入部し、練習を重ねるごとに記録を更新した3年間。年に4回の大会が1回に減ってしまったことはとても辛かった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

時間を見つけては、自宅で筋トレと体幹トレーニングに励んだ。上級者の通うスイミングのような所に通うことができなかったため、イメージトレーニングを続けていた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

最後の大会では、自己ベストを出すことができた。成績は今一歩だったが、数か月泳げなかった辛い時期のイメージトレーニング。出来ない時には出来ることからということを学んだ。

部活動への思い

辞めたい時期もあった。でも、今は泳ぐ事が大好きです。辛かった事もあったけれど、思い返せば、先生の言葉も今だから理解できます。後輩の皆さんには、諦めず、素直に努力して何事も継続して欲しいです。



16 自転車競技部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 今まで積み上げてきたものがすべて台無しになってしまった気分、強い喪失感に駆られた。目標もモチベーションも見失ってしまい、引退を考えたがもう一度考え直した。

休校中に考えたことや取り組んだこと

初心に帰り、心機一転し、自主練習に励んだ。質を高め、より効率的な練習ができた。この期間で自分に合ったメニューを見つけることができた。チームメイトとともに、大学でも続けていこうと決心し、練習をした。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

自粛期間明けの記録会で、自己記録を更新できた。自分を信じて練習に励んで良かったと思えた。何事も諦めずに辛い事を乗り越えた先に良い未来があると確信できた機会だった。

部活動への思い

小さい頃から大好きな自転車なので、人一倍思い入れは強い。周りの人への感謝の気持ちをお忘れずに日々精進し、大会等でより良い成績を残し、結果で恩返しできるように頑張りたいと思います。



17 ボクシング部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 全ての大会で優勝するために、仲間や先生、家族と支えあい日々練習してきた。コロナで大会が中止になり、とても悔しく、悲しく、途方にくれた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

大学に進学し競技を続けると決めた。気持ちを切り替え、家でできるトレーニングを調べ、自分が強くなるにはどうすればよいかを考えた。後輩にはアドバイスやサポートができるように心掛けた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

目標は以前と変わらず全国大会優勝。また、コロナで世の中が揺れていても自分自身が意識を高めれば強くなれるということを実証したい。そして、コロナで苦しむ人々に元気を与える選手になりたい。

部活動への思い

一日一日を乗り切ることが精いっぱいでした。精神面、体力面がボロボロにならながらも3年間乗り越え、人として成長することができたのは、ボクシング部があったから、大切な仲間達と出会えたから。ありがとうございました。



18 柔道部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 高校柔道の集大成であるインターハイが中止になった時は、そこに賭けてきた思いが強い分、喪失感が大きかった。練習する目的を見失ってしまった時期もあった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

休校中には、大会が開催されることを信じ、各自が自主トレーニングに励んでいた。今までの当たり前が、当たり前ではなかったことに気づくことができた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

3年生は部活動で得た貴重な経験を、それぞれの進学先、就職先で活かし、活躍することが新たな目標である。

部活動への思い

3年生は、これまでの練習の成果を發揮する機会がなく、引退となりましたが、後輩たちには試合や練習ができることに感謝の気持ちを持ち、部活動に励んでもらいたいです。



19 剣道部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 とても悔しく、悲しく、辛くて、無力感、虚脱感というか、今まで積み重ねてきたものを発揮する場と目標を失い、「無」になったように感じた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

部活動の意義や部活動で培った事を再考し、「努力は自分に活かしている」事を確認した。いつ部活動が再開しても対応できるように、素振り・ランニング・基礎体力作りに努めた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

「進路を考える時間ができた」と前向きに捉え、「コロナ禍で苦しむ人々のために尽力する」、「生涯剣道で夢を叶える」、「進路実現を果たし親孝行する」等の夢が見えてきた。

部活動への思い

「剣気活用」の部訓を心に、文武両道に励む仲間と切磋琢磨し、人間的に大きく成長できた学びの場。保護者、部顧問等、支えていただいた方々に深く感謝します。後輩も頑張れ。



20 弓道部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
周囲からは可哀そうな学年だと言われたが、学ぶことが多くあった。それは、当たり前の日常が当たり前ではないということだ。辛いことはあったが、次の目標に向かう原動力になった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

インターハイの開催を信じて、自宅で練習に励んだ。仲間と一緒に部活動ができること、練習環境があることの有難さを感じてみる期間だった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

スポーツができる環境、運営や応援してくれる方々の存在など、今まで当たり前だと思っていたことに感謝の気持ちを持つようになった。新しいステージで活躍し、恩返しをしたい。

部活動への思い

精神的に未熟だった私を成長させてくれたのは弓道部でした。最後は思いがけない形になりましたが、充実した3年間で支えてくださった方々には感謝しています。



21 山岳部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
山岳部では、大会に加え引退登山や夏山合宿が中止となる結果になった。今年最高学年を迎える身としては、後輩と共に最後の登山に臨むことができず、残念に思った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

山に登る上で必要なことは体力と切り切るという強い意志であるため、体力づくりに取り組んだ。個人としては、勧誘活動が思うようにできず、新入部員の入部を願っていた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

部活動やさまざまな行事が中止される中、落ち込むことはあった。しかし、受験に向き合う時期にあった私はこれを好機と捉え、より一層勉学に励み、自己実現に邁進した。

部活動への思い

山岳部で得た体験が、私がこれから歩む人生の中で貴重な財産となりました。部長として何もできず卒業してしまいます。後輩たちには登山の楽しさと登頂の達成感を味わって欲しいです。



22 チアリーディング部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
大会中止ではなく、延期という方針になったが、いつ実施されるかわからず、不安な気持ちでいっぱいだった。夏にかけてのモチベーションも低くなり、完成していた演技も観ても見えない悲しさがあった。しかし、他の練習をする時間が増えたとクラスに考えるようにした。

休校中に考えたことや取り組んだこと

突然の休校に戸惑ったが、今まで練習で積み重ねた体力を低下させないように、トレーニングマナー、ジャンプの発信を基にランニング、筋トレ、体力維持に取り組んだ。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

ダンスのフォーメーションに規制がかかり、いつものような技ができなくなりました。しかし、何事もポジティブに考え最後は笑顔で悔いなく引退したいと一日一日を大切に今できることを全力で行ったことと思った。

部活動への思い

先輩から引き継いだシャークスの名に恥じないように3年生がチームを引っ張っていくという思いで日々活動しました。数多くの知識や経験を学び、憧れていたこの部に入れてとても幸せでした。私を成長させてくれたのは先生方やチームメイトです。ありがとうございます。



23 応援部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
目標としていた甲子園での応援ができなくなりました。選手の皆さんを後押しできるような力強い応援を最後の大会で出し切ろうと心に誓っていたので、行き場のないやるせない気持ちが入み上げてきた。自分たちは何をやって部活を引退すればいいのか。残念な気持ちでいっぱいだった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

筋トレや体幹等を鍛え、いつ部活が再開しても良いように頑張った。3年の思いは後輩たちに託すしかない。今まで以上に指導に力をいれようと決め、練習。部員に自主練習の動画などを見せてアドバイスをしました。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

何事も失敗を恐れず、一つひとつ取り組んでいくことの大切さを実感した。応援部を通して、人の為に何かをする素晴らしさを知った私は、この経験を活かし、積極的にボランティア等に参加し、人の役にたてる人間になりたいと思った。

部活動への思い

部活の仲間との結束は強く、さまざまな場所で大々さんの人たちを応援できたことが何よりも素敵な思い出になりました。先生や後輩たちのおかげで頑張れたことを誇りに感じるとともに、皆に出会えて本当に良かったと思っています。



24 少林寺拳法部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
今までの修練の成果を発揮できずに終わるのかもしれないと思つたとやるせない気持ちと同時に悔しさもみあげてきた。今までの努力がすべて無駄になった気がした。

休校中に考えたことや取り組んだこと

次の世代へ「繋ぐ」ことを考え、技の指導や昇級試験対策など、自分たちが引退するまでにできることは全てやった。部活動全体の団結を感じた瞬間だった。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

練習中にマスクは外せず、組んで練習することもできない中、次の大会へ向けて目標を作った。掲げた目標に近づけるよう、全員が一丸となって部活に取り組んでいる。

部活動への思い

とにかく今できることを精一杯やってほしいです。仲間と過ごす日々を大切に、残された時間、悔いの残らぬよう全力で部活動に励んでください。3年生一同、応援しています。



25 空手道部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
3年生4人で、「3年間の集大成をインターハイの舞台で出し切ろう」と誓い、勝利を目標に頑張ってきた。しかし、勝った時の喜びを味わうことができないと思つた時、悲しさと悔しさでいっぱいになった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

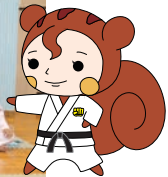
休校中も「今できることをやろう」と自分に言い聞かせ、毎日筋トレやランニング等を欠かさず行った。仲間と支え合い、希望をもって有意義な時間を過ごした。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

大会の有無に関わらず、最後までやり切ったことで、部活動の本当の意義に気が付き、仲間との絆をさらに深めることができた。

部活動への思い

空手道だけではなく心も成長させてくださった先生に、とても感謝しています。後輩たちには、辛いことも仲間と一緒に乗り越えて、勝利をめざして頑張ってもらいたいと思います。



26 ハンドボール部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
突然の新型コロナウイルス感染症の流行により、チーム一丸となってめざしてきた大会が中止になった。とても残念だったが、前向きに頑張っていこうと思った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

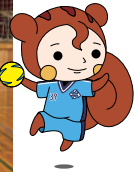
部活動ができない期間は体幹トレーニングやランニングを毎日実施し、体力の向上に努めた。各自でトレーニング動画を作成し、友人のトレーニング等も参考にした。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

コロナ禍で辛い状況の中、何事にも諦めず頑張ることができた。これから自分の夢に向かってあたり、辛い事があっても自分に自信をもって夢を追いかけていこう。

部活動への思い

今まで支えてくれた同級生、ついてきてくれた後輩たち、ありがとう。いつもお忙しい中、熱いご指導をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。



27 パワーリフティング部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
今まで全国大会に出場し、上位入賞するという目標のために頑張ってきた。コロナの影響で大会が中止になってしまいとても残念で悔しかった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

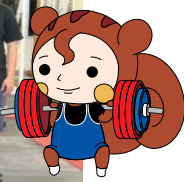
部活動再開に向けて、自分自身のメンタル面の強化に努めた。また、顧問の先生と相談しながら自宅でできるトレーニングを実施し、体力の維持にも努めた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

大会が中止になり、出場できないまま引退になってしまったが、後輩を指導していく中で、全国大会優勝をめざして頑張りたいと感じた。

部活動への思い

今の自分を育ててくれた部活には感謝しかありません。進路に関しても大変お世話になりました。卒業後もOBとして後輩に貢献していきたいと思っています。



28

女子硬式野球部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
大会がなくなっただけで本場にシヨックで悔しかった。去年全国優勝をし、今度は自分たちの力で掴みたいという気持ちが強かったため、目標がなくなり、絶望感でいっぱいだった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

このままという形で野球人生が終わるのかと考えた。早く仲間に会いたい思いとチームに貢献をするために今何をすべきかを考えた。練習が再開した時に万全な状態で臨めるように自宅で筋トレや素振り等の自主トレをしっかりと行った。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

大会がなくなり、現実を受け入れるまでには時間がかかった。しかし、進路についてしっかり見つめなおすこともできた。私たちの培ってきた経験は無駄ではなかった。将来の財産になると思っている。

部活動への思い

作新で野球ができたことを誇りに思っています。監督・チームメイトと過ごした日々はとても楽しく、自分自身を成長させる場となり、本当に感謝しています。昨年優勝したあの瞬間の光景は一生忘れません。後輩たちには、また日本一を獲って欲しいと思います。



29

社会研究部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
部活動の時間が減少し、尚かつ遠征が不可能になったことが、非常に残念だった。研究発表の場がなくなってしまうのは個人としても、大きな痛手となった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

コロナ禍という状況の中で、これまで人類を襲った感染症について各々調べ、その結果を、休校明けに発表し、感染症の恐ろしさ、それに対する人類の対抗策を共有した。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

感染症をテーマに調べ学習をしたことにより、感染症を介してみる歴史に、強く興味関心をそそられた。コロナ禍の苦境を新たな発見の好機として捉えていきたい。

部活動への思い

コロナ禍だけでなく、これから自然災害や事件などを契機に、新たな視点や興味を見つけ、新たな道を拓く。そのような部活動でありたいと思います。



30
英語部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
11月の大会に向けて夏に行われる予定だった他校との練習会が中止になってしまった。この状態で、大会はおろか通常の活動ができるのだろうか、と不安だった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

休校中は、部員に会って話すこともできなかった。ディベートは、部員同士や相手校とのコミュニケーションの上に成り立っている活動なので、改めて実感した。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

他校とのオンラインでの練習会を経て、少しずつ対面での活動も増えてきた。さまざまな考えを持つ多くの人と意見を交換できることに感謝し、今後に活かしていきたい。

部活動への思い

部活動は、自分を高めてくれる場のひとつです。部員とコミュニケーションを取りながら自分の役割を果たすことのできる今を大切に、今後も活動を続けていきます。

31
書道部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
3年間の集大成として全員が真剣に練習に励んでいたのに、実力を発揮する場がなくなり残念だったが、大会は中止でも思いを込めた作品を仕上げようと思った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

休校中は自宅で練習することが多く、その場で先生に直接教えていただくことや、共に切磋琢磨して成長してきた仲間の存在の大切さを実感した。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

今まで通りの活動をするのが困難になってしまったが、大会には全力で取り組み、こんな状況だからこそ心が和らぐような作品を書けないかと考えるようになった。

部活動への思い

不慣れた環境の中でも、熱心にご指導してくださった塚原先生をはじめ、さまざまな方々の支えがあってこれまで活動できました。この感謝を忘れずに今後も努力していきます。



32

演劇部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
大会が実施されたものの、無観客での実施となった。演劇は、観客がいてこそ成立するものだ。無観客での上演は、手紙を詰めた瓶を海に流すようなものでとても残念に思った。

休校中に考えたことや取り組んだこと

Zoomを活用して、外部講師による演劇ワークショップを試みた。また、オンラインで実施された「こうち総文」の映像を観て、全国の優れた学校の演劇を研究した。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

先輩方が築いてくださった伝統の行事さえ、例年通り実施できるかわからない現実。正直に言って「乗り越えた」という確信はないが、感動を届けたい気持ちは変わることはない。

部活動への思い

伝統を受け継いだ身としての痛み、伝えたかったメッセージ。私たちが流した瓶をいつか誰かが拾い上げてくれることを願って、今の私たちにできる表現を模索していきます。



33

吹奏楽部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
大会中止を知った時は信じられず、他の行事も中止となっていく中で、徐々に実感が湧いていった。虚無感に襲われ、何も手につかないという日々が続いた。

休校中に考えたことや取り組んだこと

次に演奏できる機会にレベルが落ちないよう、一人ひとり目標を決めて個人練習をした。また、先生方のご協力をいただき、「みんなのうた」などのリモートアンサンブルを行った。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

苦しい思いをしている方、全力を尽くしてくださっている医療従事者の方など、少しでも多くの人へ音楽という形で元気や感動を与えるという夢を持ち、活動を続けた。

部活動への思い

このような状況下で私たちに演奏の機会を与えてくださる全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。後輩の皆さん、一日一日を大切に、仲間を信じ、支え合い頑張ってください！



34
音楽部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 私たち音楽部は年に2、3回、合唱のコンテストに出場できることになっていた。今年は大大会が中止になり出場できなかったため、とても悔しい。

休校中に考えたことや取り組んだこと

昨年度より部員が増え、それに伴い、指導内容が古典音楽からJ-POPに変わった。今まで以上に音楽に親しみやすくなったと思う。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

コロナの影響もあって発表会や大会に出場できず、活躍の場がなかったため、顧問の先生とも相談してオンライン作新祭に参加することにした！外部への発表ができて嬉しかった。

部活動への思い

音楽部の顧問の先生や後輩の皆さん。本当に感謝でいっぱいです。私が入りたての時は人数が…。でも、いい先輩や後輩、顧問の先生にも出会えて幸せです。後は頼んだよ！

35
琴部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
 ようやく学校も再開され、部活動も軌道に乗り始めただけに残念だった。昨年度末から取り組んだ曲を披露できずに終えてしまうのかと思うと気が失われるようだった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

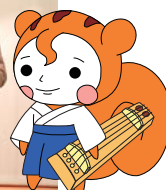
作曲家のCDを聴き込み、少しでも原曲に近づけるよう、また共通イメージをもつて演奏できるように、個人練習に取り組んだ。必ず合奏できるときが来ると信じた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

部室に集まって練習することがとても大切な機会だったのだと、改めて気づかされた。個人練習も欠かせないが、心を合わせて合奏する楽しさを味わった。

部活動への思い

琴部は学年を超えて楽しく、一つの目標に向かって努力できる場所です。一つの音にこだわり、達成した時の喜びを何度でも味わうために団結力を高めていきたいと思えます。



36

ボランティア部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
みんなが困っている時に、自分たちに行
ができるかを懸命に考えたが、自分たちの
安全を考慮し密を避けるためには行動につ
つすことができなかった。それが今でも心
残りだ。

休校中に考えたことや取り組んだこと

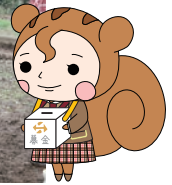
行動を起こすことが難しいため、新型コ
ロナが再び蔓延した際に自分たちには何が
できるかを、部員全員で考える時間にした。
全員がさまざまな意見を出してくれた。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

自分たちの安全を確保しながら密を避け
できることを考えた末、校内の除菌活動を
定期的に行うようになった。結果として部
員のボランティア精神がより一層高まった。

部活動への思い

さまざまな活動に参加することによって
自分たちから積極的に動くことの大切さと
難しさを学ぶことができます。社会への貢
献度を高めることができる部活です。



37

かるた部

コロナ禍で大会が中止になった時の気持ち
今年の大会のために一生懸命練習を頑
張ってきたので、その力を発揮できる場が
なくなってしまうことは、とても悲しく
悔しかった。

休校中に考えたことや取り組んだこと

自主練習をした。やらなければやらない
ほど実力が落ちる競技なので、そうならな
いため、また練習が再開したときに自分に
自信が持てるように毎日毎日頑張った。

苦境を乗り越え、見えてきた新たな夢

今まで努力してきたことを発揮する機会
がなくなり悔しかったが、高校では成し遂
げることのできなかったことを大学ですべ
て成し遂げたいという目標ができた。

部活動への思い

かるた部は集中力や忍耐力が身に付き、
友達と協力する大切さを改めて感じさせて
くれました。また、百人一首の歴史にも触
れることができ、とても貴重な経験になり
ました。

